

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 7年 3月 14日

公表:令和 7年 3月 17日

事業所名 ブロッサムジュニア向ヶ丘遊園教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	5			
	2	利用定員やこどもの状態に対して、職員の配置数は適切であるか	4	1	専門的職員も配置されており手厚い	職員の曜日ごとの勤務の配置状況を検討して、曜日によっての勤務の負担を軽減していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は障がい者の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			
	4	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもたちの活動に合わせた空間となっているか	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	5			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		
適切な支援の提供	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	4	1		定期的な研修はあるが勤務状況によって参加できていない職員がいる為、参加した職員から共有をする機会を確保していく。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか	5			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	5			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	5			
	16	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定されているか	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			
	18	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか	5			

20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか	5			
21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	5			

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や、関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行なう体制を整えているか	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクル	5			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（ハ	5			
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要	5			
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域	2	3		地域の交流会などでお声がかかるようになるように、外出イベントの際に Blossam ジュニアを知ってもらい、その中でも他の児童との関りをもてる機会をつくる。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝えあい、こども	5			
保護者への説明責任等	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加出来る研修の機会や情報提供等を行っているか	3	2		今年度は保護者会で様々な情報共有をする機会があった為、保護者の希望に合わせて開催頻度を検討していく。
	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか	5			
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5			
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行なっているか	5			
	36	父母の会の活動を支援する事や、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	5			
	37	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ定期的に返信等を行っていることや、HPやSNS等を活用する事により、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	4	1		児童の急な利用の申し入れや、利用予定の児童の情報を頂いた際には迅速に対応しているが、更に実施できることがあるか職員内で随時検討していく。
	38	定期的に返信等を行っていることや、HPやSNS等を活用する事により、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	5			
	39	個人情報の取り扱いに十分留意しているか	5			
	40	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3		29の質問と同様にアプローチし、こちらの主催でのイベントの開催も目指す。

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発声を想定した訓練を実施しているか	5			
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5			
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	5			
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	5			
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、家族等へ周知しているか	5			
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか	4	1		教室内の様子の共有は密に行っているが、非常勤職員への確実な伝達方法を検討していく。
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか	5			